

## 県央・林業部トピックス（10月号）

### 林業省力化技術実証事業現地研修会

10/12に大田市有林内で新型の地上レーザー測量機器（mapry LA03）を用いた林業省力化の実証研修会が江の川下流流域林業活性化センター主催で開催されました。

mapry LA03は、(株)mapryにより開発・販売されている、背負って林内を歩くだけで森林計測が行えるバックパック型のレーザー測量機器です。最短15分程度で1haの森林の計測を行うことが可能で、計測地点の地形データも同時に取得することができます。これを使用することにより、林業事業者の行う毎木調査や森林作業道開設前の現地踏査などの作業省力化が期待できます。

研修会には、林業事業者・市町・県などの林業関係者30名以上の参加がありました。午前(株)mapryの職員によるLA03を実際に使った計測の様子を見学し、午後は志学まちづくりセンターへ移動して午前中に計測したデータの分析結果を確認しました。

取得したデータはUSBメモリに記録され、そのデータを解析することで立木の胸高直径や樹高、樹種などがパソコン上に表示されました。

研修会終了後には、流域管内の市町・事業者体に機器が貸し出され、試用期間として実際に機器を使ってみるになっています。

今後さらに森林施業でのICTの活用が進み、林業省力化につながることを期待されます。



mapryLA03 使用方法の説明



背負われている機器がLA03（軽量・コンパクト）



分析方法の説明



分析結果を表示